

平成 29 年度

大井川の中流域を学ぶ視察会

実績報告書

視察日 平成 29 年 11 月 25 日（土）



塩郷えん堤から上流を望む

大井川の清流を守る研究協議会

平成29年度 大井川の中流域を学ぶ視察会参加者名簿

視察日：平成29年11月25日(土)

参加者:22名

スタッフ:3名

合計:25名

	氏名	住所地	備 考
1	仲田 勉	島田市	
2	仲田 弘	島田市	
3	川崎 隆次	島田市	
4	佐野 邦代	島田市	
5	小澤 征一	島田市	
6	仲田 源造	島田市	
7	松村 達也	島田市	
8	大石 立美	焼津市	
9	大畠 廣	島田市	
10	秋山 吉恵	島田市	
11	鈴木 みどり	島田市	
12	加藤 美津代	島田市	
13	岩堀 加徳	島田市	
14	岩堀 政子	島田市	
15	河合 恵子	島田市	
16	秋原 敬子	島田市	
17	吉村 威	島田市	
18	望月 節子	島田市	
19	諸田 昌太郎	島田市	
20	永江 梢子	島田市	
21	池谷 緑洋	焼津市	
22	横道 復子	島田市	

事務局

	氏名	住所地	備 考
23	小澤 節子	川根本町	講 師
24	太田 英亮	川根本町	くらし環境課
25	長島 誠	川根本町	くらし環境課

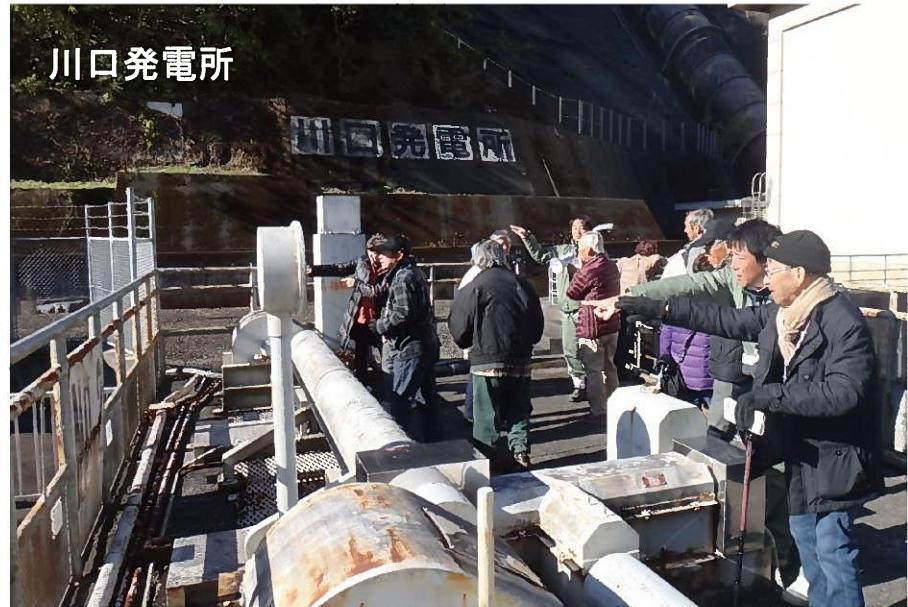
平成29年度 大井川の中流域を学ぶ視察会日程表

平成29年11月25日(土)

時 間	視 察 場 所	説 明 の 内 容
8:55	JR島田駅 南口へ集合	下り 8:33、44着 ／ 上り 8:30、43着
9:00	JR島田駅 南口 出発	
9:15～9:30	大井川用水神座分水工	川口取水口から送水された水は、小笠幹線(右)最大取水量10.22m ³ /s、延長4300mと大井川左岸幹線(左)最大取水量26.07m ³ /s、延長2700mに分水されます。手前に神座取水口(0.322～0.66m ³ /s)があります。
9:40～10:25	川口発電所	笛間川ダムから送水された水は、川口発電所での発電に利用され、最大58,000kw、90m ³ /s、常時19,300kw、30.53m ³ /sの水利権が中電に許可されています。発電に利用された水は放水庭に流れ、大井川用水(39m ³ /s 内訳:農水36.8 工水2.0 市水道0.2)に利用されるため神座分水工へ送水されます。川口の取水庭に出た水は、県大井川水道企業団の上水用に利用のため、相賀浄水場に6m ³ /sを牧之原農業用水に3m ³ /sがそれぞれトンネルで送水されます。
10:40～10:55	笛間川ダム	大井川上流で取水され発電に利水された水は、下流の発電所に送られて利水され、大井川本川に戻されることなく笛間川ダムに集められ、下流の川口発電所へ送水されます。
11:00～11:25	塩郷堰堤	この堰堤は大井川ダム及び支流寸又川合流点下流の余水を集めて笛間川ダムに送水します。堰堤建設から30年間(水利権)ゲートを降ろして貯水を始めるとい滴の水も流れず、河原砂漠が出現しました。これにより1989年(28年前)に「水返せ運動」が起り、5tの水が流れることになりました。
11:35～11:55	長尾川水路橋	導水トンネルからの流水を支流長尾川と次の支流中津川に水路橋を構築して境川ダムに送水します。
12:00～12:50	昼食	〈川根本町山村開発センター 和室〉
13:20～13:40	牛の首(小山)	大井川で2番目に建設された発電所跡
14:00～14:40	大井川ダム・奥泉発電所	大井川ダムは大井川発電所(崎平)の取水のために、大井川本川を堰き止める最初にできたダムです。奥泉ダムより取水された水がこのダムに放流されていて、ダムの右岸には取水された水を送る水圧鉄管があり、併せて発電所も整備されています。
15:00～15:10	長島ダムふれあい館	長島ダム及び周辺地域や大井川流域市町の様々な情報をパソコン・映像・パネル・パンフレットなどで分かりやすく紹介しています。同館に隣接する四季彩公園は四季の変化に併せた風景を楽しめます。
15:45～15:55	四季の里	休憩
16:05～16:20	境川ダム	導水トンネルで送られてきた水と境川の水をこのダムで合わせて下流にある久野脇発電所へ送水されます。
17:00	JR島田駅 南口着 解散	下り 17:29、48発 ／ 上り 17:22、37発

大井川の中流域を学ぶ視察会（平成29年11月25日）









平成 29 年度「大井川の中流域を学ぶ視察会」に関する意見・感想

平成 29 年度「大井川の中流域を学ぶ視察会」に関する意見・感想

○参加者数：22 人（内回答者数：16 人（72%））

○視察会開催をどのような形で情報をえましたか。

- ・新聞掲載・・・・・・・・・・・・ 4 人
- ・視察会のチラシ・・・・・・・・ 0 人
- ・友人等からの紹介・・・・・・・・ 10 人
- ・市町のホームページ・広報・・・ 2 人

○大井川の現状を知っていましたか。

- ・知っていた・・・・・・・・ 4 人
- ・知らなかった・・・・・・・・ 11 人
- ・関心がなかった・・・・・・・・ 1 人

○大井川の現状（中流域）を視察して、どんなことを思いましたか

- ・土砂堆積の現状を把握できてよかったです。（島田市 男性）
- ・普段、清潔な水があるのを当たり前としていましたが、流域全体で農業用水、工業用水、上水と使用する量の多さ、また、その水を使って発電が行われ、無駄無く水が使用される現状を多くの方に知ってほしいと思いました。
(島田市 女性)
- ・先人の苦労が分かりました。感謝、感謝です。（島田市 男性）
- ・今までずっと大井川用水の横で生活していましたが、全く知らないことが多數ありました。（島田市 男性）
- ・自然の変化、力というものを肌で感じました。水力発電、ダム等、中部電力の管理、エネルギーに対する力があるのを改めて感じました。
(焼津市 男性)
- ・大井川の水が大井川の本流に流れず、トンネルに通っていることが分かった。
(島田市 男性)
- ・ダムの役割、力、水力発電等、そして水がトンネルを通り、各ダムに放流されていることなど、知識を広めました。（島田市 女性）

平成 29 年度「大井川の中流域を学ぶ視察会」に関する意見・感想

- ・知ってはいましたが、改めて川を流れる水が少ないと思いました。昭和 30 年代、島田、金谷付近の大井川は、かなりの水量があったと思いますが、あの水はどこに行ってしまったのでしょうか。上水用、牧之原用は理解できますが、なぜ小笠にまで送るのでしょうか。（大井川を犠牲にしてまで。）水利権とは一体何なのでしょうか。（島田市 男性）
- ・海岸線の後退防止のためには、砂利を流す。（島田市 男性）
- ・ここに住んでいるおかげで水が身近にあり、当たり前になっていました。ただその水を発電に、農業用に、飲み水にと多くの方々の要望に応えられる様に上手に工夫していると思いました。発電にも何回も利用し、無駄の少ない様になっているのが驚きました。（島田市 女性）
- ・初めて知ったことが多く、勉強になりました。（島田市 女性）
- ・大井川に水が無いのは悲しい。電源開発の犠牲だが、やむを得ないのか。何か流域市町に恩恵を欲しいね。（島田市 男性）
- ・流域の人々の暮らしや自然を守るために長い先人の努力と施策の積み重ねのこと、さらに現在、電力、河川保護、維持のために、日々各界の努力がなされていることを知ることができた。一般人である我々には、なかなかその機会は無く、まして専門家の案内は得られないで、今回は貴重な体験でした。（島田市 女性）
- ・勉強になりました。新たな発見がありました。（焼津市 男性）
- ・楽しく勉強させていただきました。（島田市 女性）
- ・普段見られない場所をたくさん見せていただき、大変勉強になりました。
(市町名、性別 未記入)

○ 課題がある場合、行政や流域住民は、どの様なことを行っていったら良いと考えますか

- ・中部電力の説明は、事業者のそれとしては理解できるが、大井川人としては、大井川の復活を懇願。水力発電方法の 21 世紀型、夢の電力システムを開発されたし。（島田市 男性）
- ・エネルギーについて、地元の産業として、大人も含め、もう少し突っ込んだ教育が必要だと思います。（島田市 男性）
- ・土砂等、大分溜まっている様で、もっと取りたいですが、難しいようですね。
(島田市 男性)

平成 29 年度「大井川の中流域を学ぶ視察会」に関する意見・感想

- ・大井川用水の働き、水の有効活用について地元小学校の授業に直接的に取り入れてはどうでしょうか。（島田市 男性）
- ・もっと多くの住民に水、川の管理、現状を知ってもらうこと、学習の機会を増やしてもらいたい。リニアの整備等で更に自然が崩れて行くのではないかと心配です。（焼津市 女性）
- ・大井川を「きれいな水の源」とすることを念頭に置き、ゴミ、流木、草木等を処理していく必要があると思いました。（島田市 女性）
- ・経済の面から見れば、大井川の水は、発電、飲料、農業と非常に効率的に活用していると思います。一方で、自然環境の維持、将来への生態系を繋ぐ責任等を考えた時、バランスのとれるポイントが分からない。やみくもに感情的になるのではなく、専門家に意見を求め、これを広く伝えることで、進むべき方向が見えてくる気がします。（島田市 男性）
- ・水の有り難さを学校でも教えてほしい。（島田市 男性）
- ・都会の様に節水、断水には、ほとんど縁が無い地域なので、住民一人一人が水の大切さを再確認できる機会をつくる。例えば火災予防週間の様に、年に2回位、水の〇〇週間とし注意喚起をする。各地区に水神さんがあるので、その写真を撮ってオリエンテーリングの様に回る。（若い方が集まるのでは。）（島田市 女性）
- ・最大の課題は、ダムへの土砂の堆積問題だと思います。長期対策を立てて着実に行っていく必要がある。大地震のダム決壊が心配。大井川の水（地下水、湧水等）をブランド化して流域の市町を潤わせる必要がある。
（島田市 男性）
- ・住民（特に町に住む住民）の意識を向上させるための工夫。生活に直結する面も大きいし、世界的な流れである自然保護も含めて。（島田市 女性）
- ・水力発電、期待します。（島田市 女性）

○その他

- ・視察会は、川の上流から下流に向かっての順序で見学できればより理解しやすいと思います。（島田市 男性）
- ・この一ヶ月余り、川の水がきれいにならず心配しております。
（島田市 女性）